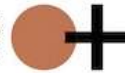


[View this email in your browser](#)

Tomoko
Mukaiyama
Foundation x.

multus
マルタス



秋の日本ツアーと「ここから」



©Kazumi Kurigami

日本はいま1年を通して最も美しい季節かと思えます。今月12日の東京公演を皮切りに、新宮、京都、上五島、うきはの5箇所での日本ツアーが始まります。「人生を変えてしまうメロディー」というタイトルのピアノリサイタル、初めて取り上げるバロック末期のフランスの作曲家、ジャン＝フィリップ・ラモー「新クラヴサン組曲集」から数曲と、日本でもファンが増え続けているシミオン・テン・ホルト作曲「カント・オスティナート」を準備しています。20日には生まれ故郷の和歌山県、新宮に建設中である新宮市文化複合施設の2021年オープニングの助走として、パフォーマンスシリーズ「ここから」をプロデュースすることになりました。かつて熊野古道が古代の巡礼者たちを繋ぐネットワークの「場」であったように、新宮にアイデア、インスピレーション、アーティスト、そして市民と観客が交差する場所を作りたい、と希望しております。またツアーに合わせて、初LPと国内版CDがキングインターナショナルよりリリースされます。

全公演チケット好評発売中！ 東京公演は全席指定席になりますのでお早目にお買い求めください。

10月12日（土）14:00 [トッパンホール](#) 東京

10月20日（日）16:30 [新宮市立丹鶴体育館](#) 和歌山県 新宮

10月30日（水）18:00 [京都府京都文化博物館 別館ホール](#) 京都

11月4日（月）13:00 [新上五島町石油備蓄記念会館](#) 長崎 五島列島



©Reinier van Brummelen

新しいプロジェクトが始まりました。2020年6月の発表に向けて、「*End and Beginning* (終わりと始まり)」の制作が始まりました。プログラムは「ハンマーを持った女性」と渾名されたガリーナ・ウストヴォーリスカヤの記念碑的作品、「コンポジション第2番 *Dies Irae* (怒りの日)」(1973)、同じくロシア人作曲家アレキサンダー・ラスカトフに新たに委嘱した新作のダブル・ビルです。*Dies Irae*は20年以上前にコンサートホールでまさに目撃した作品で、8台のコントラバス、ピアノ、そして棺桶のような長い木の箱をハンマーで叩く打楽器という、それ自体シアトリカルな編成。

そしてラスカトフの新作はこれとは全く対照的に、色彩豊か、ノスタルジーを感じさせる抒情的な音楽です。フィルム「雅歌」で一緒にシネマトグラファーのレニエー・ヴァン・ブルムレン、建築的デザインと次世代のテクニカルを駆使する遠藤豊氏をクリエイティブチームに迎え、オランダを代表するコントラバシスト、ハーグ王立音楽院と協働します。

向井山朋子

Tomoko Mukaiyama



一般社団法人マルタス〇+

multus.tomoko.jp info@tomoko.nl

Want to change how you receive these emails?

You can [update your preferences](#) or [unsubscribe from this list](#)

This email was sent to <<メールアドレス>>

[why did I get this?](#) [unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)

Multus · Barcelonaplein 5 · Amsterdam, 1019LX · Netherlands